令和2年度 えびの市立真幸小学校 学校評価

(各項目4段階評価 4、3,2,1)

	壬上化道市石		自己評価	í	地 聯只 丛林军丛内袭人 0.	学校運営協
	重点指導事項	児童	保護者	教職員	教職員・学校運営協議会の意見・改善等	議会の評価
	1【確かな学力の向上に向けた指導体制や指導方法の確立】 児:学校での勉強は分かりやすい。自分から進んで学習しているか。 保:お子さんは、学習内容を理解し漢字や計算の力を身に付けているか。 教:分かる授業のために、教材研究や学習指導法の研究に努めているか。 真幸タイムの活用・個別指導による学力の定着	3. 5	3. 3	3. 3	・指導方法の工夫改善により、子どもたちがよく考え、友だちと学び合う学習スタイルが身に付いてきている。今後はクラスの枠を超えた指導体制等の工夫について研究を行い、きめ細かな指導を行う。 ・授業中の習熟の時間を確保し、真幸タイムをはじめ休み時間等の活用を通して、今後も個別指導の充実を図っていく。 ・各種学力調査の結果を分析し、子どもの学力についての課題に対して具体的な手立てを講じていく。 学校運営協議会より ・学力の個人差はあると思います。先生方には自信をもって指導をしてほしいと思います。	3. 3
I 学力向上	2【家庭学習の習慣化】 児:毎日、家庭学習に取り組んでいるか。 保:お子さんは、進んで取り組む態度が身に付いてきているか。 宿題の内容は適切であるか。 教:家庭学習の指導、保護者への協力の呼びかけをしているか。	3. 7	3. 2	3. 4	・家庭では、声かけを必要としている児童もいるようである。学校と家庭との連携、学校での家庭学習の見取り、児童の頑張りの称賛を継続し、習慣化につなげたい。 学校運営協議会より ・児童たちの高い評価をしているのが良いと思う。 ・教員が把握してそして放課後や休み時間を活用し個別指導をされていることを有難く思います。	3. 3
	3【読書活動の推進】 児:学級文庫や図書室の本を借りたり読んだりしているか。 保:お子さんは、読書の習慣が身に付いてきているか。 教:家庭での読書を推奨しているか。	3. 1	2. 4	2. 6	・学校では身近にある学級文庫等を読んでいることもあり児童の自己評価は高い。今後、家庭での読書の啓発を図っていく。 学校運営協議会より ・本はたくさん読んでほしいと思う。 ・図書館側も利用活用についていろいろと考えておられるようですので期待しています。環境づくりが大切ですので。	2. 8
Π 心の教育・生徒指導の充実	4【望ましい人間関係】 児:学校は楽しい。相手の気持ちを考えた言葉遣いや行動ができているか。 保:相手の気持ちを考えた言葉遣いや行動ができているか。 教:相手の気持ちを考えた言葉遣いや行動ができるよう指導しているか。	3. 6	3. 2	3. 4	・学級活動や「道徳」の時間での人権教育や他を思いやる心の育成に取り組んでいる。また、名前を呼び捨てにしないことは相手を思いやることの基本である。今後も全教育活動を通して指導していく。 ・毎月の悩みアンケートや訴えに対して丁寧な対応を今後も行い児童の悩みの早期解決を図っていく。週2回の真幸タイムのうち1回目でアンケート、2回目で聞き取りを行うよう設定する。 学校運営協議会より・児童たちの高い評価をしているのが良いと思う。 ・子どもたちの健全育成のために、私たち地域の関係機関も学校や家庭をサポートしていきますので、活用してください。	3. 3

	5 【規範意識】 児:学校や地域のきまりを守って生活しているか。 保:お子さんは、学校や社会のきまりを守って生活しているか。 教:学校や社会のきまりを守って生活できるように指導しているか。	3. 8	3. 5	3. 5	・子どもたちは、きまりをしっかり守って生活できている。 ・今後も学校内外で気になることがあったら、迅速で細かな個別指導、全体指導を行う。 学校運営協議会より ・児童、保護者、教職員全体の評価が高い、よいと思う。	3. 8
	6【あいさつ】 児:毎日、自分から気持ちのよいあいさつをしているか。 保:お子さんは家や学校・地域で進んであいさつができているか。 教:気持ちのよいあいさつができるように指導しているか。	3. 5	3. 3	3. 3	・あいさつ運動や校門でのあいさつはでできている子が多い。 ・校内での自主的なあいさつ、会釈の指導も必要であるので、運営委員会と連携して次年度取り組んでいく。 学校運営協議会より ・立ち当番の方々への挨拶はできているが、それ以外の方々へも挨拶ができるようになってほしい。 ・自分から進んで挨拶するようになってほしい。	3. 3
	7【健康な生活習慣】(手洗い、うがい、歯磨き、むし歯の治療、1km徒歩登校) 児:毎日、手洗いやうがい、歯磨き、1km徒歩登校ができているか。 保:お子さんは健康な生活習慣を身に付けているか。徒歩登校ができているか。 教:自分の健康を守る指導、徒歩登校を指導しているか。	3. 6	3. 3	3. 5	・学校での手洗い、コロナ対策の手指消毒は習慣化されてきた。 ・う歯の治療率約85%、保護者への治療啓発が課題。 ・1km 徒歩登校、体力づくりについては、集会時等に全体指導を行ってきている。児童、家庭へ継続して指導を行う。 学校運営協議会より ・コロナ感染もなく良かったと思う。以前よりは車で登校する児童が少なくなったように思う。	3. 5
田連携の推進	8【家庭との連携・情報発信①】 保:学校からのお便りやホームページで、保護者や地域の方に、学校の様子や教育方針などを分かりやすく伝えているか。 教:保護者や地域の方に、学校の様子や教育方針などを分かりやすく伝えているか。		3. 3	3. 5	・学校の諸行事ごとに、学校ホームページで学校の様子を伝え、情報発信に 努めた。閲覧してもらえるようにお知らせをする。 ・学級通信を定期的に発行し、学校の様子、子どもたちの様子を発信している。 学校運営協議会より ・PTA新聞や学校だよりを回覧板等で見ることができないものか。ホームページ以外では情報はないと思う。	3. 0
	9【家庭との連携・情報発信②】 保:学校はお子さんのことについての連絡や話合いを積極的に行っているか。 教:学校は子どものことについての連絡や話合いを積極的に行っているか。		3. 2	3. 6	・家庭への連絡が必要な場合は、連絡帳や電話連絡により家庭との連携を図った。 学校運営協議会より ・教職員と保護者の差が少し大きいように思う。差が小さくなることを願う。 ・先生方が一生懸命な感じを受けますので信じたいと思います。	3. 3

10【行事・参観日】 保:学校の行事、学校参観日の回数や内容は適切であるか。 教:学校の行事や参観日は、保護者の参加を考えて計画しているか。				・本年度は感染防止のため計画どおり参観日が実施できなかった。学校での 児童の様子や担任の指導方針を直接伝えられなかったため、学校ホームペー ジや学級通信等で行った。 ・コロナ対策を講じた参観日の在り方を検討していく。	
		3. 3	3. 5	学校運営協議会より ・コロナ禍ではしょうがないと思う。 ・中学校では自由参観日があり参加できる日に行っていたが、今年度はコロナの関係で行けなかった。皆さん働いておられるので回数等適切だったと考えます。	3. 3
11【園・小・中連携】 教:こども園や真幸地区の小中学校との連携に積極的に取り組んでいるか。			3. 4	・感染防止のため相互参観が中止となった。小中学校間ではリモートによる授業参観で、互いの研究の内容を学ぶことができた。 ・外国語の学習では、中学生による英会話を動画におさめ、小学生に視聴させるなどの連携を行った。 ・コロナ対策として、小学校の学習の様子を動画におさめ、こども園に見せるなどの連携もできるのではないか。 学校運営協議会より ・動画の活用はとても良いアイデアだと思う。期待しています。	3. 3
12【地域との連携】 児:えびの市の様子や施設についての学習で、えびののことがよくわかったか。 教:必要に応じて地域の活動や地域素材を生かした学習に取り組んでいるか。	3. 6		3. 5	・感染防止に気を付けながら可能な限り実施した。郷土を愛する心を培う上で大切な学習である。 学校運営協議会より ・えびの市の未来のため、大切な学習でしょう。よろしくお願いします。	3. 3